

九州大学で「伊都学」開講

概要

平成18年4月12日(水)から糸島地域の自然・歴史・文化等について学び、理解を深めるため、「伊都学」を開講しています。

九大と前原市、前原市立伊都国歴史博物館が連携して授業を進めます。

背景

昨年6月に前原市から、九州大学が伊都地区へ移転するのを契機に伊都国歴史博物館を利用した授業を行えないかとの打診がありました。

九州大学においても、開講に向けて検討した結果、平成18年度の前期に教養教育科目の総合科目として、1・2年生対象に「伊都学」(2単位)の名称で開講することとなりました。

内容

九州大学大学院比較社会文化研究院、田中良之教授がコーディネーターとなり、西谷伊都国歴史博物館館長をはじめとして、同博物館職員、九大教員、前原市教育委員会から関係者10名の講師で授業を進めていきます。

授業の内容は、糸島地域の自然(地形、資質、植物)、歴史(邪馬台国の時代の伊都国とその前後の歴史)、文化(仏教美術や民族行事)などを専門の研究者が分担して講義します。授業の最後には、伊都国歴史博物館での研修や史跡を見学する現地学習も行います。

効果

糸島地域の自然・歴史・文化等を学ぶことによって、九州大学伊都キャンパスが位置する伊都地区の理解を深め、身近に感じ取ることができるものと期待されます。

今後の展開

前原市や伊都国歴史博物館の意向にもよりますが、大学としては来年度も継続させて、より充実したものにしていきたいと考えています。

【用語解説】

総合科目 = 教養教育科目のうち、複数の教員(講師)が、同一テーマのもとで、オムニバス形式で各回の授業を担当する、大半が講義を主体とした授業の総称。

【お問い合わせ先】

比較社会文化研究院教授 田中 良之

電話 : 092 - 726 - 4606

FAX : 092 - 726 - 4530

Mail : tanak@rc.kyushu-u.ac.jp

(別紙)

「伊都学」授業日程及び予定担当講師

1. 4月12日 西谷 正 (伊都国歴史博物館館長)
2. 4月19日 井上 晋 (九大農学部附属演習林助教授)
3. 4月26日 平野照美 (福岡グリーンヘルパーの会会長)
4. 5月10日 岡部裕俊 (前原市教育委員会)
5. 5月17日 田中良之 (九大大学院比較社会文化研究院教授)
6. 5月24日 瓜生秀文 (前原市教育委員会)
7. 5月31日 佐伯弘次 (九大大学院人文科学研究院教授)
8. 6月 7日 宮崎克則 (九大総合研究博物館助教授)
9. 6月14日 服部英雄 (九大大学院比較社会文化研究院教授)
10. 6月21日 瓜生秀文
11. 6月28日 西谷 正, 角 浩行 (伊都国歴史博物館)
12. 7月 8日 西谷 正, 角 浩行

「社会と学問」

概要

履修対象として低年次生を想定した全学部学生が選択可能な講演形式の授業です。講師は、本学総長、総長が依頼した講師及び高等教育総合開発研究センターが依頼した講師の12名で、これまでの講師の大半は九州大学出身者です。履修学生の課題は、講演を聴いて内容を読み解き、大学での学びを社会参加(将来の仕事)にどのようにつなげるかについて思考し、他学生の考え方を参照しながら、高年次での学びに備えることにあります。

背景

自らを理系人間・文系人間と型にはめたり、大学教育を資格試験の準備と見なしている初年次生たちの狭まった関心の幅を広げるきっかけとなる授業を目論んで「社会と学問」が平成9年度から開設されています。大学教員が学生に語ることでできる社会は実体験によって裏づけられていないということがあるので、講師を大学外に依頼して実施しています。講師がその体験に応じて語る「社会」の実像のどこかしらを、学生個々が自らの「学問」ないし研究と結びつけて捉えてほしい、つまり大学での学びにリアリティをもたせてほしいという期待のもとで、授業に「社会と学問」というタイトルをつけております。教養教育科目の総合科目「社会と学問」(2単位)として開講しています。

内容

社会の第一線で活躍されている先達の方々が講師として、紆余曲折を経た体験に根ざした話をしていただきます。全員の毎回の履修レポートを掲載した「履修ノート」(CD版)を作成します。一人ひとりの想像や思考が及ぶ範囲には限界がありますが、全員で作成する「履修ノート」は、例年、社会的課題の発見や学問の捉え方において、多様な照射が見られます。

効果

「社会と学問」の履修による最も顕著な効果は、高度化し複雑になった社会に参画するにあたり、総合的であるという意味で高度な視点と知識が必要であることへの気づきをもたらすところにあります。また、講師の予想外の体験談を聴き、他学生の授業レポートを読むことで、一貫した硬い価値観を問い直し、多様性を許容するための土台づくりの端緒となっています。

今後の展開

本年度は、統一テーマを『(私の)リーダーシップ論』としています。今後は、社会的に有為な人物の教育を目的とする九州大学の全学教育の課題を統一テーマとして採りあげ、このテーマをめぐって学生がどのように理解し思索しているかを検討し、全学教育のあり方に提言する授業としていきたいと考えています。また、高年次生を対象とした「社会と学問」の開設も目指しています。

【用語解説】

総合科目 = 教養教育科目のうち、複数の教員(講師)が、同一テーマのもとで、オムニバス形式で各回の授業を担当する、大半が講義を主体とした授業の総称。

【お問い合わせ先】

高等教育総合開発研究センター教授 淵田吉男

電話 : 092-726-4544

FAX : 092-726-4530

Mail : fuchita@rche.kyushu-u.ac.jp

「社会と学問」授業日程及び予定担当講師

1 . 4月12日	オリエンテーション	
2 . 4月19日	村山 由香里	(株)ファウプ代表取締役社長
3 . 4月26日	亀井 俊郎	明治乳業(株)神奈川工場工場長
4 . 5月10日	金 榮 昭	駐福岡大韓民国総領事館総領事
5 . 5月17日	元村 有希子	毎日新聞社科学環境部記者
6 . 5月24日	高橋 利夫	福岡県立修猷館高等学校教諭
7 . 5月31日	佐藤 隆	日本ゼオライト(株)代表取締役社長
8 . 6月 7日	矢頭 美世子	(株)やずや代表取締役社長
9 . 6月14日	山内 桂子	東京海上日動メディカルサービス(株) メディカリスクマネジメント室主席研究員
10 . 6月21日	梶山 千里	九州大学総長
11 . 6月28日	重橋 史朗	NPOふぉるつぁ事業所代表
12 . 7月 5日	モンテ カセム	立命館アジア太平洋大学学長
13 . 7月12日	坪井 瑞江	(株)竹中工務店プロジェクト推進本部